建設課関係

建設工事等の発注状況
前年比工事契約額212%、総額4億3，200万円

9月10日現在の建設工事等の発注状況は、土木関係6件、建築関係9件、水道関係3件、合計18件、総工事契約金額は、4億3，383万9千円です。昨年の同時期の総工事契約金額2億468万2千円と比較して、2億2，915万7千円（212%）増の状況です。

現在施工中の主な工事は、美国小学校耐震・大規模改修工事、美国中学校大規模改修工事、美国小学校環境整備工事、憩いの広場環境整備工事、教員住宅給湯設備等改修工事外4件です。

また、委託業務は、地籍調査関係1件、土木関係2件、建築関係2件、水道関係1件、合計6件、契約金額1，194万9千円です。

工事及び委託業務の契約総件数は24件、総額4億4，578万8千円、うち国の平成21年度予算の繰り越しによる関連事業分は、16件、4億3，287万3千円です。

道営治山事業
美国小泊荒木地先着工

道営治山事業については、新規事業として美国小泊地区（旧荒木地先）復旧治山工事が8月11日に着工し、法枠工2，171㎡、雪崩予防柵82m、法切工235㎥などが、来年2月に完成予定です。

教育行政報告
（要約）

学校教育関係

夏季休業が終了
事故なく元気に登校

児童・生徒における夏季休業は、小学校・中学校とも25日間であり、2学期は8月18日から始まり、児童生徒には事故もなく、元気に登校し学校生活を送っています。

この夏休み期間中は、家庭を中心とした生活形態ですが地域社会の沢山の人々と触れ合う機会も多く、その中から主体的に学び自ら行動することができる基礎的な学習能力や基本的な知識が身についたものと考えます。

社会科副読本「積丹の町」編集委員会を設置

町内小学校3年生及び4年生の社会科副読本「積丹の町」は、平成23年度からの新学習指導要領の実施とあわせて本年度中に内容の改訂を行うこととなるため、積丹町教育研究会・社会科部会を中心に、6月30日に編集委員会を設置しました。

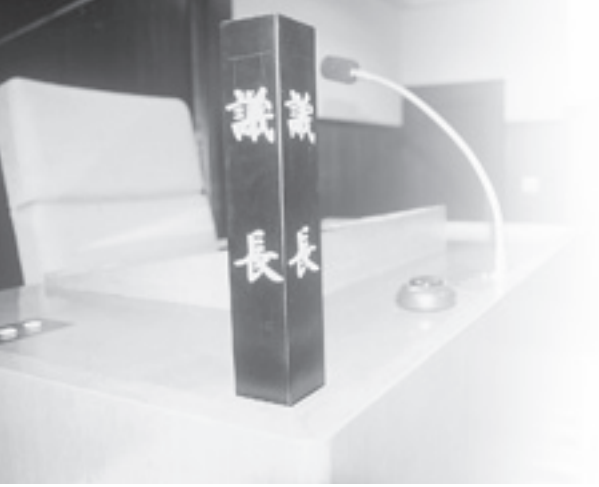
第2回目の同委員会を7月14日に開催し、編集、方針、編集日程及び作業分担を決め、現在、委員による原案を執筆中であり、来年の2月の完成を目指しています。

平成22年度全国体力・運動能力運動習慣等調査終了

国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てることを目的に、「体力運動能力調査」を小学校第5学年は7月21日に、中学校第2学年は体育の授業を利用してそれぞれ実施しました。

本年度からは、国が抽出する学校と教育委員会が選定する希望校での実施体制に変更され、本町においては美国中学校が抽出校で、美国小学校及び日司小学校が希望校として調査を終了しました。

年末にはこの調査結果が公表され、今後の各学校における体



育指導等の改善に役立ててまいります。

陸上競技大会を開催

子どもたちが親睦を深め、体力の向上を図ることを目的に、町内4校の小学生が一堂に会し、第36回積丹町小学校陸上競技大会が研修広場で、9月9日に開催されました。

今大会では、トラック競技6種目、フィールド競技3種目の合計9種目を行いました。

その中で、4年女子500メートル走で大会新記録が生まれるなど、子どもたちの体力の向上が図られている様子が随所に見受けられました。

各種競技で精一杯頑張った児童を賞賛するとともに、大会運営などにご協力いただきました教職員の皆様や応援いただきました保護者の方々に感謝を申し上げます。

生涯学習関係

社会体育事業

B&Gジュニア水泳教室を7月27日から29日までの3日間、積丹町B&G海洋センタープールで、小学校2年生から6年生までの24名が参加して実施しました。

泳力指導では各自の力量に見合った練習方法を指導しアクアキッズフェスタでは、全国46の海洋センターで944名（236チーム）がB&G財団のネット回線を通じて同一日開催のタイムレース形態で実施し、低学年の部で積丹町Bチームが総合2位と健闘しました。

また、今年は、シュノーケリングのレベルアップを図ったり、身近なペットボトルを使って救助体験をし、水への安全意識を高めました。

家庭教育の推進

第3回少年教室「B&G野外体験プログラム」によるキャンプ体験教室を、8月12日及び13日の2日間、23名が参加して開催しました。

集団行動を通して社会性を養い、水辺の事故や不測の事態に必要な知識を体験的に学習することで「自分の命は自分で守る」という自助意識を喚起するとともに、自然の厳しさや優しさ、楽しさを体験し、自然に対する興味や関心を育てることを目的に、今後も継続して事業の実施をします。

第4回少年教室「俳句教室」を9月4日、小中学生を対象に開催しました。小学生11名、中学生2名の参加者は、俳句の基本について講師から学んだ後に、美国漁港や黄金岬の自然観察をしながら、43首の作品を完成させ、講師からの講評を受けました。作品は、町の文化祭にも出品する予定です。

俳句づくりは、自分自身の思いや考え方を多様にし、豊かな心を育むものになるものと期待しています。

文化の振興について

「道民文化祭」第38回後志俳句大会が7月25日に積丹町総合文化センターで68名の参加者で開催されました。

事前に各自が投句する兼題投句の参加者は、102名で、審査の結果積丹町から2名の方が最高の特選となっています。また、当日は、「海霧」を席題として、68名の方が投句し、積丹町の2名の方が、3位と4位に入選しております。

今後も、自主的、積極的な芸術文化活動の振興を推進します。

B&G海洋センタープールの管理・運営について

昨年度と同様に、7月1日から8月31日までの2ヵ月間を利用期間とし、期間中事故なく終了することができました。

利用人数は、延べ1，941人（前年度比85人増）、使用料の累計は、44千円（前年度比9千円増）です。

審議された案件

報告第1号
専決処分の承認を求める件について（平成22年度積丹町一般会計補正予算・第3回）
白鳥忠世元積丹町長の死去に伴う香典50万円、広告料32万円など合計98万円を追加し、歳入歳出予算の総額を24億1511万5千円とするものです。
（承　認）

報告第2号
専決処分の承認を求める件について（平成22年度積丹町一般会計補正予算・第4回）
7月29日発生の大雨の災害応急復旧対策に伴う職員手当、修繕料など1，100万円を追加し、歳入歳出予算の総額を24億1，251万5千円とするものです。
（承　認）

報告第3号
専決処分の承認を求める件について（平成22年度積丹町簡易水道事業特別会計補正予算・第2回）
7月29日発生の大雨の災害応急復旧対策に伴う修繕料40万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億4，107万4千円とするものです。
（承　認）

報告第4号
平成21年度財政健全化判断比率等の報告について
地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項（健全化判断比率）及び第22条第1項（資金不足比率）の規定に基づき、監査委員の意見を付して報告するものです。
（承　認）

議案第1号
平成21年度積丹町一般会計決算の認定について

議案第2号
平成21年度積丹町老人保健特別会計決算の認定について

議案第3号
平成21年度積丹町簡易水道事業特別会計決算の認定について

議案第4号
平成21年度積丹町国民健康保険事業特別会計決算の認定について

議案第5号
平成21年度積丹町下水道事業特別会計決算の認定について

議案第6号
平成21年度積丹町介護福祉サービス事業特別会計決算の認定について

議案第7号
平成21年度積丹町産業交流雇用対策推進事業特別会計決算の認定について

議案第8号
平成21年度積丹町後期高齢者医療特別会計決算の認定について
（いずれも認定）

議案第9号
積丹町過疎地域自立促進市町村計画の策定について
過疎地域自立促進特別措置法第6条第1項の規定に基づき、積丹町過疎地域自立促進市町村計画を策定し北海道知事との協議を了したので、同項の規定に基づき議会の議決を求めるものです。
（原案可決）

議案第10号
積丹町犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の一部を改正する条例について
犯罪被害者等基本法の規定による犯罪被害者等の権利利益の保護を目的とした、犯罪被害者等の支援等についての地方公共団体の責務規定を現行条例に追加明記するため、本条例の一部を改正するものです。
（原案可決）

議案第11号
積丹町手数料条例の一部を改正する条例について
平成22年4月1日発足した日本年金機構が行う業務の実施に必要な資料要求手数料については、免除の取り扱いとする条例の免除適用条項の拡充整備を図るため、本条例の一部を改正するものです。
（原案可決）

議案第12号
人権擁護委員候補者の推薦について
法務大臣へ任期満了及び新た

な人権擁護委員候補者3名を推薦するに当たり、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものです。

人権擁護委員候補者

成田康正 氏（美国町）
川井順應 氏（入舸町）
安宅範子 氏（余別町）

（同 意）

議案第13号

積丹町営住宅管理条例の一部を改正する条例について

公営住宅における国の暴力団排除の推進方針並びに全国の地方公共団体における同対策の動向に沿って、積丹町営住宅からの暴力団排除に必要な条例規定の所要の整備を図るため、本条例の一部を改正するものです。

（原案可決）

暴力団員の町営住宅の使用の制限に関する協定書を締結

町と余市警察署は、10月7日に「暴力団員に係る町営住宅の使用の制限に関する協定書」を締結しました。

この協定の締結は、公営住宅の入居者や周辺住民の生活の安全と平穏確保を侵害される事案が全国的に社会問題となっていることから、警察署と町が、暴力団排除対策の推進と連携強化の推進を図ることを目的としています。

協定の締結により、町は入居審査などの場合に、余市警察署に暴力団員かどうかを照会し、暴力団員である場合は同署から通知を受けるができることになります。

町では、警察署とのこうした連携強化により安全で安心なまちづくりの推進に役立てることにしています。

議案第14号

平成22年度積丹町一般会計補正予算（第5回）

農地利用集積事業費、ロータリー除雪車購入費など合計1，824万5千円万円を追加し、歳入歳出予算の総額を24億3，076万円とするものです。

（原案可決）

議案第15号

平成22年度積丹町簡易水道事業特別会計補正予算（第3回）

議案第16号

平成22年度積丹町産業交流雇用対策推進事業特別会計補正予算（第1回）

簡易水道及び産業交流雇用対策推進事業特別会計歳入歳出予算の総額を変更しないで、それぞれ歳出予算内の組み替え措置を行うものです。

（いずれも原案可決）

意見案第1号

道路の整備に関する意見書

（原案可決）

意見案第2号

国土交通省北海道局の存続を求める意見書

（原案可決）

意見案第3号

B型肝炎問題の早期全面解決を求める意見書

（原案可決）

平成22年 第5回町議会臨時会

平成22年第5回町議会臨時会が10月20日招集され、議案3件が審議され同日閉会しました。

そのあらましについてお知らせします。

審議された案件

議案第1号

平成22年度積丹町一般会計補正予算（第6回）

余市協会病院救急医療体制維持補助金108万円及びほっかいどう企業の森林づくり推進事業費22万円、合計130万円を追加し、歳入歳出予算の総額を24億3，206万円とするものです。

（原案可決）

議案第2号

平成22年度積丹町簡易水道事業特別会計補正予算（第4回）

7月29日発生の大雨により被災した伊佐内川水道取水施設の災害復旧費補助による復旧対策に伴う工事請負費590万円を追加し歳入歳出予算の総額を1億4，697万4千円とするものです。

（原案可決）

議案第3号

財産の取得について

議会の議決に付するべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、ロータリー除雪車1台の購入に係る動産の買入れについて議会の議決を求めるものです。

（原案可決）